

**From:** Michiya Shimada  
**Sent:** Thursday, October 23, 2014 1:18 AM  
**To:** Yoko Ohkawa  
**Subject:** Re: condolence

大河先生の奥さま、

お返事ありがとうございました。

先生のお仕事は、どれも独創的で、広い知見と深い洞察に富むものでした。先生の警咳に接することができたのは、私にとって無上の幸運です。

私のような凡人は先生の足元にも及びませんが、先生に「面白い」と言っていただけのような仕事をするのが、私の目標でした。自分の仕事について先生にお話ししたとき、先生に「面白い」と言っていたことが一度だけあります。それが私の自信と励みになっています。もう先生にお会いして話を聞いていただけることはできなくなってしまいましたが、先生に「面白い」と言っていただけのような仕事をするのを、これからも目標にしていきます。

近いうちに太平洋岸に行って、*Que sera sera* を歌います。天国まで届くように大きな声で。

嶋田道也

2014年10月21日 9:45 Yoko Ohkawa: \_\_\_\_\_  
嶋田道也様、和子様、

先日は、ご丁寧なメール有難う御座いました。

主人は、中々気難しい人でしたが、道也さんの事は大好きでした。元気なころは120歳まで生きる積りだったようですが、衰えを感じ始めてからは、西川さんに、今の望みは一日も早く死にたい事だと言ったそうです。私にはどちらも言いませんでした。

やっと一昨日、水葬をすませました。船に乗って彼の灰をお花と一緒に太平洋に流しました。今度、太平洋の海岸へいらっしゃることがありましたら、彼のために、美声で歌ってやってくださいませんか。超音痴の彼でしたが、聞けるのですが、全く歌えませんでしたが、死ぬ前一年間程、大好きな曲が一つあって、それがケセラセラでした。

嶋田さんは、がうとでビールが飲めないそうだと同情していましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。

本当に有難う御座いました。

大河洋子 拝

**From:** Michiya Shimada

**Sent:** Sunday, October 5, 2014 6:33 PM

**Subject:** condolence

大河先生の奥さま、

ごぶさたしております。

原研（原子力機構）の嶋田道也です。

大河先生がお亡くなりになったとお聞きいたしました。

まことにご愁傷様です。

先生のように科学者としても人間としてもスケールの大きい人には

お会いしたことがありません。

先生は体を鍛えていらっしゃいましたし、健康には気を使っていらっしゃって、

「ぼくは120歳まで生きる」と仰っていたのを思い出します。ですから

お別れするのはずっと、ずっと、先のことかと思っておりました。

とても残念です。

これまでのご指導に感謝申し上げ、

心からご冥福をお祈り申し上げます。

嶋田道也 和子

PS：昨年 ITER を退職し青森県の六ヶ所村で  
仕事をしております。家族と三沢市に住んでおります